

富山高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	航海実務	
科目基礎情報							
科目番号	0243		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		学修単位: 1		
開設学科	商船学科		対象学年		5		
開設期	前期		週時間数		1		
教科書/教材	船と海運の話						
担当教員	笹谷 敬二						
到達目標							
機関コース卒業生の就職分野において、最小限必要で実務的な商船学科航海コースの専門科目の概要を理解する。内容は、海運業の概要、船体主要目、船体構造、船舶設備、載荷、操船、船橋当直、入出渠・船体保存手入れ、海上保険、備船契約、I S Mコード、海上交通ルールおよび船位論である。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価基準 1		航海士の業務を十分理解している。		航海士の業務を概ね理解している。		航海士の業務を理解していない。	
評価基準 2		船舶運航の仕組みを十分理解している。		船舶運航の仕組みを概ね理解している。		船舶運航の仕組みを理解していない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	海運業の概要、船体主要目、船体構造、船舶設備、載荷、操船、船橋当直、入出渠・船体保存手入れ、海上保険、備船契約、I S Mコード、海上交通ルールおよび船位論 について講義を行う。						
授業の進め方・方法	教科書および配布資料を中心に適宜、演習および実船を用いながら授業を進める。						
注意点	出来るだけ質疑・応答を取り理解度を確認しながら講義を進めるように努める。評価が6 0 点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあつては、その評価を6 0 点とする。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	船体要目概要		船の歴史と海運の役割		
		2週	船体構造概要		1)船の種類 (2)船の構造 主要寸法（長さ、幅、深さ）、喫水マーク及び満載喫水マーク、トン数,船級協会等構造様式、船首構造、船尾構造、倉内構造等		
		3週	船舶設備概要		(1)船の設備 操舵設備、錨及び錨鎖、荷役設備、救命設備等		
		4週	船体保存手入れの概要		入渠・出渠、船舶検査、船体保存手入れ等		
		5週	操船概要		係留施設（岸壁、ブイ係留等）の種類、係留方法等		
		6週	船橋当直概要		航海当直、停泊当直（主な保安業務内容、荷役当直）に関する事項		
		7週	中間試験				
		8週	海上保険概要		海上保険の意義と定義、種類（船舶保険、P I 保険）等		
	2ndQ	9週	備船契約概要		用船契約の種類、定期船の運送契約等		
		10週	I S Mコード概要		制定の経緯、目的、I S O 9 0 0 0 シリーズとの関係等 定義、適用、運用等の内容		
		11週	海上交通ルール概要 1		海上衝突予防法（適用、基本的な考え方、航法）		
		12週	海上交通ルール概要 2		海上衝突予防法（航法、形象物、信号等）		
		13週	海上交通ルール概要 3		海上交通安全法 港則法		
		14週	船位論		船位、航程等に関する用語、地文航法等		
		15週	期末試験				
		16週	答案返却 解説 授業 アンケートなど				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	0	0	20	0	0	100
基礎的能力	50	0	0	10	0	0	60
専門的能力	30	0	0	10	0	0	40
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0